

緑の募金にご協力ありがとうございました！

令和2年（令和2年1月1日～令和2年12月31日）募金額

9,201,159円



皆さまからの募金は、地域の緑化や森の大切さを伝える普及啓発等に役立てられています。

令和2年度緑の募金感謝状贈呈

毎年、一定額以上の寄付をいただいた方や募金活動に協力いただいた方に感謝状を贈呈しています。

高知県知事感謝状

・イオンリテール株式会社

高知県森と緑の会理事長感謝状

・株式会社土佐山田ショッピングセンター
・ダイドードリンコ株式会社
・陸上自衛隊 高知駐屯地
・高知おおとよ製材株式会社
・高知中央青果買受人協同組合
・富士ゼロックス四国あいさとくらぶ

・株式会社西森建設

・株式会社サンニーマート
・株式会社サンシャインチェーン本部
・株式会社フタガミ
・株式会社四国銀行

春の緑の募金キャンペーン

3/1 から 5/31 は春の緑の募金強化期間です。

緑の募金にご協力をお願いします！

● 緑の募金寄付型商品のご紹介

森と緑の会だより 2020 秋号で紹介したエッセンシャルオイル「実葉土」の谷和香菜さんが新たに「全身用保湿油ハイバーム」を販売開始しました。こちらも緑の募金寄付型商品として売り上げの 1% が緑の募金に寄付されます。



詳しくは



4/18 (日) に高知市中央公園北口とひろめ市場周辺で街頭募金活動を行いました。

● 緑の募金箱

高知県内の量販店、ホームセンター、銀行、道の駅、体験施設などに募金箱を常設しています。見かけたら募金のご協力をお願いいたします！



公益社団法人高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市桟橋通 6-7-43 総合保健協会合同庁舎 5 階

電話番号 088-855-3905 FAX 番号 088-855-3906

Email : info@moritomidori.com URL : www.moritomidori.com

発行

ホームページでイベント情報などを随時お知らせします >

公益社団法人高知県森と緑の会 発行

2021年5月1日

森と緑の会だより



【表紙の写真】「大きく育てー！」と苗木にパワーを送る園児たち
2月9日(火)に佐川町立黒岩中央保育所の園児たちが約3年間
大切に育てたどんぐりの苗木を佐川町有林に植樹しました。



緑の広がりで地域を元気に！

緑の募金事業

「緑の募金」による植樹活動

毎年秋に募集する苗木支援や交付金、当会支部が実施する植樹事業等で、令和2年度は県内108カ所に2,243本の苗木が植樹されました。



高知県立春野総合運動公園 2月13日(土)

昨年に続き「子どもたちの未来の森づくり事業」で桜51本、モミジ50本を植樹しました。植樹の後には木工体験も行いました。



高知北ライオンズクラブ

1月23日(土)

今年も植樹のために寄付いただき、県立春野総合運動公園に河津桜10本を植樹しました。



いの町立伊野小学校

2月16日(火)

校庭の緑化活動として、4年生がオタフクナンテン50本を植樹しました。



入野松原保存会の取り組み

黒潮町の海岸沿いに広がる国の名勝「入野松原」は黒潮町のシンボルであり、防潮・防風林の役割を果たしています。この松原を後世へ伝え・残すことを目的に、「入野松原保存会」は長年松林の保存活動を行っています。

近年深刻化した松枯れ

松枯れは、マツノザイセンチュウ(病原虫)という線虫が松の樹体内に入ることで引き起こされます。自分で移動できない病原虫を、マツノマダラカミキリ(運び屋)が木から木へと移動することで媒介し、被害が広がっていきます。

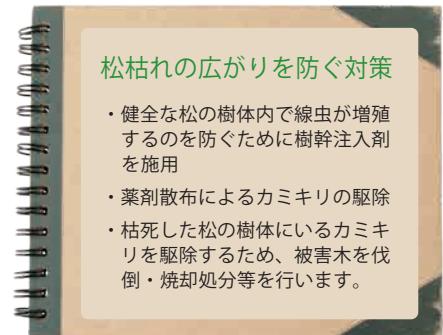
ここ数年、入野松原でも松枯れが広がっており、平成30年度には2,000本以上の松を伐倒しました。令和元年度からは、黒潮町が薬剤散布や樹幹注入剤、被害木の伐倒・焼却処分等を行い、令和2年10月現在は枯れ松が約300本と被害が少なくなっています。



緑の募金による植樹活動

平成30年度から緑の募金を活用して、クロマツの苗木を毎年400本植樹しています。活動には地元の小中学生も参加し、森林の働きについて学ぶなど普及啓発にもなっています。

令和2年度は、入野松原保存会会員や地元住民、森林組合等の関係団体の28人が参加して植樹を行いました。コロナウイルスの感染防止の観点から地元の小学生が参加できなかったのは残念でしたが、毎年の地道な活動が松林の再生につながっています。



松枯れの広がりを防ぐ対策

- 健全な松の樹体内で線虫が増殖するのを防ぐために樹幹注入剤を施用
- 薬剤散布によるカミキリの駆除
- 枯死した松の樹体にいるカミキリを駆除するため、被害木を伐倒・焼却処分等を行います。

令和3年度緑の募金公募事業

ボランティア募集について



みやびの丘で、防鹿柵や土砂流出マットの設置を行います。

日時 令和3年5月22日(土) 8:50 白髪山登山口駐車場集合
※集合場所までの送迎バス有り。

募集人数 60人(1時間ほどの山歩きのできる方)

申込・問い合わせ

三嶺の森をまもるみんなの会(坂本) 088-850-0102
※詳細は当会のホームページをご覧ください。

緑に関するボランティア活動の支援

身近な樹木の手入れを通して「緑を守り・育てる」ことへの関心を高めるために、地域住民等が行うボランティア活動を支援しています。

高知県立歴史民俗資料館周辺の桜の手入れ 1月 17日(日)

緑の募金事業

平成24年2月に写真家の前田博史さんが写真展で募った募金を活用して、樹木医や高知県緑サポーター会が中心となり桜の手入れを行いました。それから約10年が経過し、再び手入れが必要となった桜を今回は「緑の募金」を活用して行いました。樹木医の濱田先生、野島先生の指導のもと、高知県緑サポーター会、樹木医セミナー修了者、地元住民、資料館職員など44人が参加して作業を行いました。

県道384号線から資料館駐車場へ続く坂道に、約330本の桜が植樹されています。昨年11月に樹木医の濱田吉成先生に桜の状態を診ていただき、約260本の桜が写真のようにテングス病や枝枯れ、傷など、何らかの手入れが必要ということがわかりました。



▲このように枝が鳥の巣のようになるのがテングス病です。カビの一種が原因の伝染病で、ソメイヨシノはこの病気に罹りやすく県内各地で病気が見られます。

▲高所作業車による高木の手入れは全体の約4分の1しか行うことができませんでしたが、低い場所の枝の剪定や切断面への防腐剤塗布、土壌改良(施肥)などは概ね行うことができました。この活動は、令和3年度も継続して行う予定です。

緑の募金にご協力をお願いします！

▶高知県立歴史民俗資料館周辺(岡豊城跡)は桜の名所として、毎年春には多くの人が訪れます。今年も満開の桜をたくさんの人人が楽しんでいました。



県内各地で行った桜の手入れ

緑と水の森林ファンデ事業

日 時	場 所	助成団体
11月15日(日)	高知市筆山公園駐車場 および山頂周辺	高知緑と水の会
7月27日(月) 2月10日(水)	JR影野駅周辺	須崎緑と水の会
1月～2月	四万十市川登地区 (国道441号線沿い)	幡多緑と水の会



「アジロ自然の森」のフィールド整備

緑の募金

毎月「森のようちえん」を開催している高知市のアジロ自然の森では、「アジロ山の自然と環境を守る会」が定期的なフィールド整備を行っています。今回は、日頃できなかつた遊具の修繕や大木の枝の除去等を「こうち森林救援隊」の協力を得て行い、子どもたちがより安全に遊べるようになりました。



急こう配の遊歩道を緩やかにしました。子どもたちに人気のロープ渡りやブランコの古くなったロープを交換しました。

大木の危険な枝を、木に登って小型チェーンソーで1本ずつ除去しました。

森林インストラクター養成講座

緑と水の森林ファンデ事業

森林に対する幅広い知識や技能を取得するため、「森林」「林業」「森林内の野外活動」「安全及び教育」の4分野を全7回で学ぶ講座を「高知県森林インストラクター会」が行い、20人が受講しました。この講座は「森林インストラクター」資格試験に対応した内容で、修了すると二次試験の「実技」が免除されます。



▲亜寒帯から令温帯の樹木について、樹木図鑑の使い方も習い、観察しました。



▲北海道で採取した樹木標本もあり、普段は触れることのできない貴重な樹木を手に取って観察することができました。



学んだことを実践するための企画立案を行い、グループごとに発表しました。▶



◀自然素材を活用したネイチャークラフトや原木きのこの栽培手法なども学びました。



こうち山の日推進事業

高知県の森林環境税を活用した補助事業

豊かな高知の森林の恵みや魅力を体験し、森林保全についての関心を高め、理解を深める事業に補助金を交付しています。令和2年度は、コロナウイルス感染症でイベント開催が制限されるなか、例年より少ない13事業が実施され、のべ687人が参加しました。

株式会社ラフディップの取り組み

11月29日(日)

タケジビエ～タケ切ってジビエ ゆうごはん～

香美市香北町物部川沿いの杉林で、楽しみながら中山間地域の課題である放置竹林や鳥獣害について学ぶ体験型イベントが開催されました。

イベント前に「竹林整備お助け隊」の協力で侵入竹を整備し、竹の展望台や遊び場を制作してダム湖が望める気持ちの良い空間づくりを行いました。

イベント当日は、子ども・大人合わせて23人が参加して竹林を整備する体験や、切った竹を使って夕ご飯で使うお皿・器・お箸作りをしました。また、子どもたちの提案で秘密基地やアスレチックを作ろうとアイディアを出し合い、のこぎりやロープを使って完成させました。みんなで協力して作りたいものを形にできた達成感は子どもたちの喜びとなり、大人も童心にかえる体験となりました。

自然体験の後は、香北町でジビエの普及事業を行っているヌックスキッチンさんの「ジビエタコはん」を自分で作った竹食器に盛り付け、山の味を堪能しました。また、鳥獣害や地域資源としての野生動物との関わりについても、ジビエクイズで楽しみながら学びました。楽しく美味しく体験することで森林に親しみを持ち、自然環境に目を向けるきっかけになりました。



シカの燻製やたたき、イノシシの生ハムサラダなど色とりどりのたくさんの料理を竹の器に盛りつけました。



中にも笹が敷き詰められて3～4人が寝転がれる広さの秘密基地ができました。

令和3年度「こうち山の日推進事業費補助金」

募集期間 4月下旬から5月21日(金)消印有効

事業期間 交付決定日から2022年1月末まで

※募集の詳細は、当会ホームページでご確認ください。

森林・山村多面的機能発揮対策交付金



林野庁の国庫金事業

地域住民や森林所有者等が協力して行う里山林の保全、森林資源の利活用等の取り組みを支援しています。令和2年度は41団体が県内各地で活動を行いました。

神田うぐいすの森保全の会（高知市）の取り組み

高知市の神田うぐいす団地町内会に隣接する里山林は長年整備がされておらず、住宅に覆いかぶさる広葉樹や密集した竹林は景観面や治安面で町内会の課題となっていました。何か解決策はないかと相談した林業事務所で当事業を紹介いただき、3年計画で里山林1ha、竹林0.3haを整備するために、令和2年9月に「神田うぐいすの森保全の会」を発足しました。

【里山林保全と竹林整備の2タイプを施業】

会員のほとんどは本格的な森林整備の経験がなかったため、整備を始める前に「林業・木材製造業労働災害防止協会」高知支部にアドバイザー登録をしている講師から安全管理やチエーンソーの扱い方、林内での実技などの講習を受けました。

そして1年目は、里山林の倒木処理や雑草木の刈り払い、つる切り等や、竹林の倒れた竹や枯れた竹を取り扱う作業を行った結果、鬱蒼として立ち入る隙間もなかった里山林の林内に光が差し込むようになりました。

2年目以降は、径の大きな樹木の間伐や竹の間伐等を行っていく予定です。

整備を始めてみると暗い林内にたくさんのゴミが不法投棄されていたことがわかり、整備された里山林を維持することは、ゴミの問題を解決できる利点があることにも気づきました。



整備前は倒れた竹などで覆われた竹林が、整備後はすっきりきれいになりました。

令和3年度「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」

募集期間

1次募集の締め切りは5月7日(金)必着です。

2次募集を行う場合は6月上旬にホームページで告知します。

事業期間

交付決定日から2022年1月末まで

支援の対象

- 3人以上で構成する活動組織であること
- 森林経営計画の策定されていない0.1ha以上の森林であること
- 3年間活動を行うこと

支援できる内容

- 【地域環境保全タイプ】里山林の景観を維持する活動や侵入竹の伐採・除去、荒廃竹林の整備活動
- 【森林資源利用タイプ】薪炭材やしいたけ原木などとして利用するために広葉樹等を伐採・搬出する活動
- ※この他に上記と組み合わせた作業道整備や鳥獣害防止柵の設置、資機材の購入・設置に対する支援もあります。